

チャレンジ・サザンセット！活力みなぎる農林水産業の創造

柳井農林水産事務所だより

発行：山口県柳井農林水産事務所
 〒742-0031
 柳井市南町三丁目9-3
 TEL 0820-25-3290(代表)
 FAX 0820-25-3297

(有)岩国ファームが、平生町の空き畜舎を活用して、規模拡大を目指しています！

岩国市周東町上久原にある(有)岩国ファームが、平生町に新たな生産拠点を整備しました。

(有)岩国ファームは、繁殖肥育一貫経営で、平成31年2月現在肉用牛を443頭飼養しており、令和元年度山口県畜産共進会和牛共進会(枝肉区)において、農林水産大臣賞を受賞する等、安定して優秀な成績を収めており、輸出にも取り組んでいます。

国内外からの需要に応えるため、平生町の空き畜舎を購入し、令和元年度に施設の補修・改修を行い令和6年度までに、260頭の増頭を目指しています。生産された堆肥は、地域の耕種農家に供給し、耕畜連携を進める計画です。

施設の補修・改修は、国の平成30年度補正予算「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(施設整備事業)」を導入しました。事業費は約3,400万円、補助金約1,400万円で、令和2年3月に竣工しました。

平生町に、岩国ファームが進出したことで、雇用の創出等地域の活性化が期待されます。当事務所としては、関係機関と連携して支援を行っていきます。



整備された畜舎



堆肥舎

「やないちこ」の産地見学会を開催しました

柳井・大島地域「地産・地消」推進会議では、1月15日(水)、南すおう地域で栽培されている「やないちこ」について、販売協力店や市場関係者を対象に、産地の取組等への理解を促進し、地元農林水産物の販売拡大を図るため、産地見学会を開催しました。

やないちこの主な品種は「さちのか」、「紅ほっぺ」ですが、令和元年度から新品种「恋みのり」を試験的に導入し出荷を開始しています。

参加者は、生産者の案内によりイチゴの3品種のハウスを視察した後、JA伊陸支所で3品種のイチゴの試食と意見交換を行いました。

意見交換では、JA担当者から産地の取組等について説明し、流通関係者から「恋みのり」はさっぱりした甘さで香りが良い。「晩生の『恋みのり』はこれから伸びていく品種と評価している。」「各品種の特徴を伝えるためのポップが欲しい。」等の意見が出されました。

当事務所では、今後も、関係機関と連携して、地元農林水産物の

需要拡大に取り組んでいくこととしていきます。



いちごハウスの見学



3品種の試食を実施

「柳井の花」展示会in周東総合病院くち花農家からのフラワーバレンタインを開催しました

2月12日(水)から14日(金)まで、柳井市の周東総合病院で「花農家からのフラワーバレンタイン」を開催しました。

「と題して、「柳井の花」の展示PRを行いました。

今年で4回目となるこの催しは、住民の方に花に親しんでもらい、消費拡大につなげようと柳井花卉生産組合が主催したもので、病院内ロビーに生産者が栽培した「柳井の花」を展示し、今年度は玄関先にシクラメンを飾りました。また、メインとなる中央の花の装飾は、販売協力専門店の「株ヤナイ園芸」の皆さんが制作されました。

初日の11日には、オープニングセレモニーが開催され、来場者へカーネーションの花束や、シクラメンの鉢植えがプレゼントされました。当事務所では、今後もこうした取組を支援し、花の需要拡大に取り組んでいくこととしています。



オープニングセレモニー



「ヤナイ園芸」による花の装飾

法人への就業者の受け入れ、人材育成のための研修会を開催しました

アグリ南すおう株式会社の構成法人では、農作業の労働力不足が増す中で、次代を担う人材の確保・定着が課題となっています。

2月に開催した研修会では、農業法人における就業者の受け入れ、人材育成の留意点、社会保険手続きや労務管理の基本的な手法を中心に専門家より説明を受けました。その後、人材確保のため、現状を把握する資源点検表の作成について情報提供しました。

実施した法人の代表から「人材についての危機感が強くなった。リーダーの養成、担い手の確保に向けて取り組んでいきたい。」との意見が出されました。

研修会終了後の個別相談では、専門家へ労務管理についての具体的な相談が2件あり、専門家の意見を今後、各法人が参考にして人材育成、労務管理を進めることが期待されます。



研修会の様子



柳井地域農山漁村女性のつどいを開催しました

2月21日(金)、周防大島町久賀総合センターにて、「柳井地域農山漁村女性のつどい」が柳井地域農山漁村女性連携会議などの主催で開催され、約110人が出席しました。

当会議では農山漁村女性の活躍を促進するため、「柳井地域農山漁村パートナーシップ指標」を策定しており、その推進を図るため毎年一回開催しているものです。

つどいでは、指標に関する情報提供として「農業女子の育成」と「農業委員会の業務と女性農業委員に期待すること」について関係機関より紹介がありました。

講演では、NPO法人ほほえみの郷トイトイの高田新一郎氏が、同法人における取組を紹介され、高齢化や担い手の減少に直面している農山漁村地域で、女性に期待することについて、強いメッセージをいただきました。

また、今年度、表彰や認定を受けられた方の紹介や、各女性組織が自慢の品を販売するコーナーも設置され、柳井・大島地域の第一次産業に関わる女性たちの熱

気あふれる行事となりました。



自慢の品販売コーナー



講演の様子



4Hクラブ視察研修を実施しました

すおう4Hクラブは農村青年で構成される団体であり、現在計15名が参加しており、それぞれの経営や資質の向上に向け交流を図っています。

この活動の一つとして、1月10日(金)にすおう4Hクラブ技術研修会を開催し、農林総合技術センターの視察を行いました。この研修会には、農業法人就業者カンキツ、イチゴ栽培者など異なる農業を行う5名が参加しました。

視察では主にUECSと呼ばれる、1つの装置でハウスの開閉や灌水などを総合的に調整できる環境制御システム、灌水チューブの違いによる灌水技術、簡易低コストパイプハウスについて講義を受講し、また実際に施設を見学しました。

パイプハウスや灌水システムの改善は、クラブ員の共通する課題の一つでもあります。このためクラブ員からは資材の選定方法や経営改善に向けた対策など、積極的な質問や意見交換が行われていました。普段あまりできない品目の違いを超えた学習や交流

の場となる機会となりました。



自動環境制御システムの施設を見学



パイプハウスの資材と強度について確認

西山・潤田地区の獣害進入防止柵が完成しました

国営緊急農地再編整備事業南周防地区の西山・潤田地において、区画整理工事が完成したほ場に、鳥獣害防止柵(フェンス式

高さ1.2m)を設置する工事が完成しました。

事業名 農地耕作条件改善事業
事業主体 山口県
(柳井農林水産事務所)

地区名 西山・潤田地区

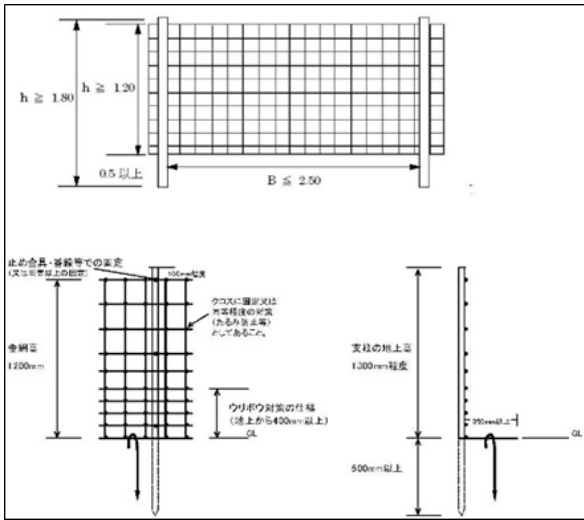
事業工期 平成29年度から
令和元年度

事業費 50百万円

事業概要 柵延長11.8km

ほ場を鳥獣害防止柵で囲むことで、イノシシからの被害がなくなるのが期待されています。鳥獣被害で困られた方は、当事務所やお近くの市町へ相談してください。

※ 標準図



進入扉



西山・潤田地区



戸田地区の農道工事が一部完成しました

周防大島の柑きつ産地の振興を目指して、『農地整備事業(耕作放棄地型)戸田地区』により樹園地整備を進めています。

当事業では農道及びパイプラインの工事を進めており、この度、一部農道の工事が完成しました。

現道の狭小な状況では農作業に負担がかかってしまいます。現道を拡幅することで、効率的な営農が可能となり、農業者の労力の節減や、経営面積の拡大をはかり、柑橘の品質向上と農業所得増加につながる事が期待されます。



完成した農道

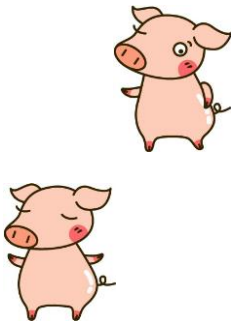
家畜伝染病予防法の一部が改正され、豚・イノシシの飼養衛生管理基準に係る指導が拡充されました。

平成30年9月に国内で26年ぶりに発生が確認されたCSF(豚熱)については、同病に感染した野生イノシシによって広域に病原体が拡散し、令和2年4月現在、58事例の発生が確認されています。加えてアジア地域においてはASF(アフリカ豚熱)の発生が拡大しており、国内への侵入が危惧されています。

このため野生動物の感染に対する対策を強化するとともに、農場における飼養衛生管理を徹底し、家畜の伝染性疾病の発生予防及びまん延の防止を図る必要があります。

こうした背景から、令和2年4月に家畜伝染病予防法の一部が改正され、一部を除き7月1日付けで施行されることとなりました。

このなかで、家畜の所有者がその飼養に係る衛生管理に關し最低限守るべき基準である「飼養衛生管理基準」について、遵守項目等の拡充が図られることとなりました。特に、豚やイノシシ等の



飼養衛生管理遵守指導

家畜所有者においては、飼養衛生管理に係る責任者を選任することが義務付けられたほか、野生動物の侵入防止対策についても義務化されることとなります。また、罰則規定も強化されることとなります。

当事務所畜産部においては、法改正の趣旨を飼養者に周知していくとともに、飼養衛生管理基準の遵守について、指導を継続していきます。

山口県漁協青壮年部連合会柳井支部が、「出張！お魚バーベキュー」を開催しました

山口県漁協青壮年部連合会柳井支部(山口県漁協光支店青壮年部・田布施支店青年部・室津支店青壮年部・柳井支店青壮年部・平郡支店青壮年部・大島漁協青壮年部・浮島支店青年部・安下庄支店青壮年部・東和町支店青壮年部)が、子供達に地元の新鮮な魚の美味しさを知ってもらおうと、2月1日(土)に「出張！お魚バーベキュー」を平生町のつばさ保育園で開催しました。

「出張！おさかなバーベキュー」は平成9年度から今年度まで連続23回開催し、参加児童・保護者数は総計約3千名に達する一大イベントです。

内容は、子供達に、地元の新鮮な美味しい魚を、おなか一杯食べてもらうって魚好きになってもらうことを目的とした魚食普及活動です。会場ではバーベキューコーナーはもちろん、海の生き物に直接触れて親しむことができるミニ・タッチプールも準備しました。今回は、子ども・保護者合わせて110名の参加がありました。



もぐもぐタイム

メニューは、サザエの炊き込みご飯、サヨリフライ、コウイカのは揚げ、小エビのかき揚げ、ハモ団子のつみれ汁を振る舞いました。皆、美味しい！美味しいと親御さんの分まで食べるお子さんもいて、大盛況でした。

タッチプールコーナーでは漁業者自らが、生き物の説明や触り方を教えて、最初はおっかなびっくりだった子供達も大胆になり、小さいサメを持ち上げたり、ナマコを水槽に投げ込んだり、びしょ濡れになる子供達も出て大盛況のうちに終了しました。



大盛況のタッチプール

◆狩猟免許試験について

狩猟を行うには、法律に基づく狩猟免許の取得等が必要であり、県では7月から9月にかけて免許試験を実施する予定です。

有害鳥獣捕獲の担い手となる狩猟者の減少が、野生鳥獣による農林業等への被害が深刻化している原因の一つになっています。このため、新たな狩猟者を確保・育成することが重要になっています。

新たに狩猟を始める方への支援策として、一定の条件を満たす場合には、県が狩猟免許取得経費の一部を助成しています。

◆狩猟免許更新について

既に狩猟免許を所持しており、その免許の有効期限が令和2年(平成32年)9月14日の方は、狩猟者講習及び適性検査を受けることで、免許を更新することができます。

当事務所管内では7月に狩猟免許更新講習会を行う予定です。

※狩猟免許試験及び狩猟免許更新の日程等については、岩国農林水産事務所森林部※森林部は柳井と兼務(☎0827-29-1567)にご連絡ください。また、山口県(自然保護課)のホームページにも掲載されていますのでご覧ください。

表彰・認定おめでとうございます!

令和元年11月22日(金)に山口県庁正庁会議室において、令和元年度山口県農林水産業関係表彰・認定式が開催され、当事務所管内においては、次の方々が、表彰または認定を受けられました。 ※敬称略

〈表 彰〉

- 山口県農山村振興賞(団体)
 - ・(農)アグリファーム木地の郷(田布施町)
 - ・葛岡・瓜迫(農)(田布施町)
- 山口県漁村優良団体・青壮年女性表彰(団体)
 - ・新鮮田布施(田布施町)

〈認 定〉

- 山口県指導農業士
 - ・弘中 敦士(平生町)
- 山口県指導漁業士
 - ・坂井 康利(柳井市)
- 山口県農家生活改善士
 - ・窪田 伸子(平生町)



今後とも、農林水産業・農山漁村の発展に向け、益々のご活躍を期待しています!!

県選奨おめでとうございます!!

令和元年12月19日(木)に山口県庁正庁会議室において、令和元年度県選奨式が行われ、産業功労者として、当事務所関係者から次の方々が選奨されました。 ※敬称略

〈個 人〉

- 小野 秋生(田布施町・田布施土地改良区理事長)
- 松村 敏子(柳井市・柳井市生活改善実行グループ連絡協議会会長)

〈団 体〉

- 新鮮田布施(田布施町・代表 濱田 秀樹)
- 周防大島くらし体験ネットワーク(周防大島町・代表 沖永 明子)